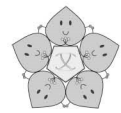


桃五だより



No.579

(9月号)

杉並区立桃井第五小学校

<http://www.suginami-school.ed.jp/momo5shou/>

2019. 9. 2

「朝遊び」の波及

校長 川田 忠

暑く長い夏休みが終わり、子供たちが学校に戻ってきました。桃五小の主人公が戻り、いつもの学校の風景となりました。保護者・地域の皆様には、2学期の教育活動へのご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

さて、今年度の教育活動の中で変わったことの一つに、朝遊びが始まったことが挙げられます。天気の良い日は、朝8時から開門までの15分間の校庭を開放しました。

学校のボールを自由に使えるように貸し出し、子供たちが中休みや放課後と同じように朝から遊ぶようになりました。

その様子は、正に小学校ならではのものです。ドッジボールや鬼ごっこをしたり、鉄棒などの固定施設を使ったり、竹馬や一輪車で楽しんだりしている。小学生が朝から思う存分体を使って遊んでいる姿に、子供たちのエネルギーを感じることができます。

朝遊びを始めた理由は、今年度より教育目標の重点を「たくましさ」においたことによります。桃五小の子供たちの身体面の課題は、体力調査結果にも表れていますし、日常生活における給食残菜率や授業中の姿勢、保健室の利用状況など学校生活の様々な場面で感じられてきました。

併せて、「たくましさ」を身につけた子供たちにするためには、心のたくましさにも着目していきたいと考えました。一つのことをやりきること、苦手なことにも立ち向かうこと、多くの人と関わることなど、現状を改善していくことで、より豊かでより楽しい学校生活につながると考えています。

しかし、たくましさを重点にした教育活動の成果は早々には表れてきません。1年2年と時間をかけて取

り組む中で、子供の姿が変容してくると考えています。朝遊びをしてきたから子供たちが変わってきたといえる日は、まだまだ先のことなのでしょう。

ただ、朝遊びが、すでに子供たちをよい方向に導いている事実もあります。例えば、朝遊びがあることにより登校時間が早くなり、遅刻者が減ってきました。通学安全指導員さんからも、子供たちの登校が早くなっているとの報告が上がってきています。また、朝遊び後の昇降口からの入室がとてもスムーズになっています。これは、6年生が低学年の子の入室を優先し、昇降口で時間差を作っているからです。6年担任の指導が行き届いているわけですが、6年生の動きとして今後も継承していくであろうマナーを今年度の最高学年が実践しています。

そして、たくましさを身につけていく朝遊びの場に、とても大きな力が加わっています。桃五小学校支援本部の皆さんに、毎朝「朝遊び支援隊」として校庭で遊ぶ子供たちの様子を見守っていただきました。1学期間を通して、延べ360人。1学期の授業日数は71日ですから、毎日平均5人の方に見守っていただいたことになります。

この様子は、そうそうどこの学校でも見られることではありません。桃五の子供たちを、学校と家庭と地域が一緒になって育てている実践となっています。支援本部の皆さんには、晴れの日だけでなく雨の日も見守りをいただき、子供たちの近い存在として傘やカッパの始末の手助けもしていただきました。

朝遊びの実施は、「多くの大人の力を借りて子供たちを育てていこう」というコミュニティスクールの理念を具現化することにもなっています。新たに始めた実践が多方面に波及し、桃五小の子供たち一人一人をたくましく、豊かに育てている。今後の発展が、とても楽しみです。

9月の生活指導目標

もも五の子供のやくそくを守ろう

- 登下校の時刻を守ろう。
- 外で元気に遊ぼう。
- あそびの約束を守ろう。

2学期が始まり、桃五小に子供たちの元気な声とともに、学校の規則正しい生活が戻ってきました。夏の疲れが出てきたり、生活リズムが乱れたりして体調を崩しやすくなる時期です。夏に培った力を発揮し、充実した学校生活を送るために、早寝早起きを心がけ、時間や時刻を守って生活していきましょう。